

平成31年度 富士見市下水道事業会計予算（概要）

1 予算概要

(1) 予算編成概要

下水道事業を取り巻く環境は、人口増加の鈍化や生活様式の多様化、節水意識の定着やトイレなどの節水型機器の普及等により、長期的には主たる下水道事業収益の使用料収入の減少が懸念される状況である。

平成31年度の公共下水道汚水事業については、道路採納に併せた管渠築造工事と水子地区等の舗装本復旧工事を実施するとともに南畑地区について引続き計画的に整備促進を図る。次に、公共下水道雨水事業については、砂川堀第2雨水幹線の浸水対策工事を実施するとともに別所雨水ポンプ場について、現在実施中の第1期更新計画期間（平成26年度から平成30年度まで）が終了することから、第2期更新計画（自家発電設備とポンプ2台の更新）を策定する。また、汚水雨水ともに管渠の修繕・改築計画、いわゆるストックマネジメント計画を策定する。

今後も市民生活の安心・安全のため、都市環境の改善を図り、都市の健全な発展と公衆衛生の向上や公共用水域の水質保全に資するため、計画的に整備を進めるとともに、維持管理に努め、経費の削減はもとより、健全で効率的な経営を推進するための予算を編成した。

(2) 予算規模

第3条予算（収益的収入及び支出）の収入は、前年度比0.9%増の18億2,046万8千円、支出は、前年度比0.5%減の15億3,665万5千円で、収支差引で2億8,381万3千円の黒字となっている。

第4条予算（資本的収入及び支出）の収入は、前年度比0.1%増の9億3,784万7千円、支出は、前年度比0.9%増の17億7,929万6千円となり、収支差引では8億4,144万9千円の赤字が見込まれる。

(3) 財源不足額

第4条予算の赤字分については、損益勘定留保資金等で補填する。

2 予算（収入）の主な特徴

(1) 3条予算（収益的収入）

○ 営業収益

下水道使用料は、人口増加の鈍化や生活様式の多様化、節水意識の定着や節水型機器の普及等により、世帯あたりの排水量は減少傾向にあるものの、普及率及び水洗化世帯戸数の増加及び平成31年10月1日からの消費税率等の引上げにより、前年度比1.5%増の10億992万円とした。

他会計負担金は、主に一般会計からの繰入金として、前年度比0.7%増の2億7,896万6千円とした。

その他の営業収益は、82万5千円とした。

○ 営業外収益

受取利息は、37万7千円。

他会計補助金は、1億9,000万円。

長期前受金戻入は、3億2,831万円6千円。

雑収益は177万4千円。

消費税及び地方消費税還付金は、見込額として1,028万9千円とした。

○ 特別収益

過年度損益修正益は、1千円とした。

(2) 4条予算（資本的収入）

企業債は、前年度比4.9%減の7億3,880万円。

国庫(県)補助金は、前年度比6.3%増の9,562万円。

負担金は、受益者負担金、工事負担金として公の施設の利用に伴う負担金（三芳町）及び他会計負担金として一般会計からの繰入金等を前年度比49.0%増の1億342万7千円とした。

3 予算（支出）の主な特徴

(1) 3条予算（収益的支出）

○ 営業費用

① 管渠費は、管渠等の維持管理に要する経費で、主に委託料、修繕費、工事請負費、負担金等で前年度比1.8%増の5億1,024万1千円とした。

【主な支出】

- | | |
|----------------------|-----------|
| ・荒川右岸流域下水道維持管理負担金 | 4億75万6千円 |
| ・維持管理・監視業務・保守点検等業務委託 | 4,707万9千円 |
| ・人孔蓋取替工事等 | 1,057万3千円 |

② 業務費は、使用料徴収業務等に要する経費で、前年度比0.1%減の4,619万5千円とした。

【主な支出】

- | | |
|----------------|-----------|
| ・下水道使用料徴収事務委託等 | 4,028万8千円 |
|----------------|-----------|

③ 総係費は、下水道事業の総括的な経費で、前年度比16.1%減の3,323万1千円とした。

【主な支出】

- | | |
|---------------|---------|
| ・システム保守等業務委託等 | 359万3千円 |
| ・下水道協会負担金等 | 186万2千円 |
| ・貸倒引当金繰入額 | 382万6千円 |

④ 減価償却費は、構築物などの減価償却費として、7億9,178万7千円とした。

- 営業外費用
 - ① 支払利息は、前年度比14.2%減の1億5,359万1千円とした。
 - ② 雑支出は、30万円とした。
- 特別損失
 - ① 過年度損益修正損は、54万円とした。

(2) 4条予算（資本的支出）

- 建設改良費
 - ① 建設総係費は、建設改良に伴う事務費等の経費で、前年度比12.9%減の7,011万5千円とした。
 - ② 公共下水道建設事業費は、前年度比56.1%減の2億1,488万2千円とした。
 - 【主な支出】
 - 委託料 9,910万円
 - ・下水道ストックマネジメント計画策定業務委託
 - ・実施設計委託料等
 - 工事請負費 9,537万円
 - ・浸水対策工事（砂川堀第2雨水幹線）
 - ・柳瀬第9污水管渠築造工事
 - ・舗装本復旧工事
 - ・私道対策事業
 - ③ 特定環境保全公共下水道建設事業費は、前年度比83.3%増の7億695万6千円とした。
 - 【主な支出】
 - 委託料 6,750万円
 - ・実施設計（新河岸第14・16）委託料等
 - 工事請負費 6億1,780万円
 - ・新河岸第16-1-1污水管渠築造工事
 - ・舗装本復旧工事
 - 負担金 159万円
 - ・公の施設の利用に伴う負担金（志木市）
 - ④ 流域下水道事業費は、前年度比16.6%増の6,741万3千円とした。
 - 【主な支出】
 - 負担金 6,741万3千円
 - ・荒川右岸流域下水道事業建設負担金
- 償還金
 - 企業債償還金は、前年度比3.8%減の7億1,893万円とした。
 - ・公共下水道償還金 4億6,693万6千円
 - ・流域下水道償還金 9,620万1千円
 - ・特定環境保全公共下水道償還金 1億3,437万1千円
 - ・資本費平準化償還金 2,142万2千円

企業債の平成31年度末未償還残高は、80億9,784万円となる見込みである。

■平成31年度富士見市下水道事業会計予算

収益的収入及び支出

収 入 (単位：千円)

款	項	目	予 定 額	対前年度増減額
下水道事業収益			1,820,468	15,847
営業収益			1,289,711	17,708
下水道使用料			1,009,920	15,110
他会計負担金			278,966	1,898
その他の営業収益			825	700
営業外収益			530,756	△ 1,861
受 取 利 息			377	274
他会計補助金			190,000	△ 20,000
長期前受金戻入			328,316	7,576
雑 収 益			1,774	0
消費税及び 地方消費税還付金			10,289	10,289
特別利益			1	0
過年度損益修正益			1	0

支 出 (単位：千円)

款	項	目	予 定 額	対前年度増減額
下水道事業費用			1,536,655	△ 7,401
営業費用			1,381,724	19,595
管 渠 費			510,241	9,096
業 務 費			46,195	△ 64
総 係 費			33,231	△ 6,382
水洗化促進費			270	0
減 価 償 却 費			791,787	20,797
資 産 減 耗 費			0	△ 3,852
営業外費用			153,891	△ 26,996
支 払 利 息			153,591	△ 25,376
雑 支 出			300	0
消費税及び 地方消費税			0	△ 1,620
特別損失			540	0
過年度損益修正損			540	0
予 備 費			500	0
予 備 費			500	0

■平成31年度富士見市下水道事業会計予算

資本的収入及び支出

収 入 (単位：千円)

款	項	目	予 定 額	対前年度増減額
資本的収入			937,847	1,346
企業債			738,800	△ 38,300
企業債			738,800	△ 38,300
国庫(県)補助金			95,620	5,650
国庫(県)補助金			95,620	5,650
負担金			103,427	33,996
負担金			103,427	33,996

支 出 (単位：千円)

款	項	目	予 定 額	対前年度増減額
資本的支出			1,779,296	15,632
建設改良費			1,059,366	44,283
建設総係費			70,115	△ 10,418
公共下水道費			214,882	△ 274,692
特定環境保全公共 下水道建設事業費			706,956	321,274
流域下水道事業費			67,413	9,619
固定資産購入費			0	△ 1,500
償還金			718,930	△ 28,651
企業債償還金			718,930	△ 28,651
予備費			1,000	0
予備費			1,000	0